

文書館ふくい

NO.106 福井県文書館 平成31年2月発行

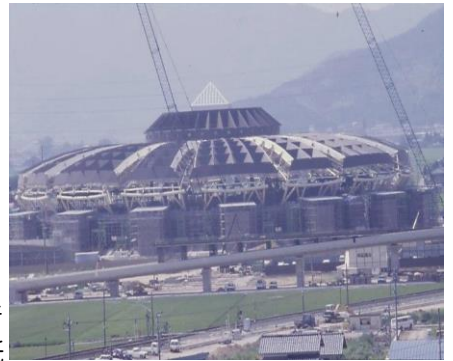
〒918-8113 福井市下馬町 51-11 電話 0776-33-8890 URL <http://www.library-archives.pref.fukui.jp/>

■建設会社社長、福井出張の真の目的は……■

平成のとある年のとある月のとある日、サンドーム福井を施工する共同企業体の一社、鈴木建設の代表取締役社長と秘書が、建設現場を視察するために福井県を訪れました。

11時2分福井駅着(名古屋支店長と合流)～県庁(県総務部長と挨拶)～サンドーム福井(現場視察)～18時夕食会というスケジュールの中、社長は視察を抜け出して東尋坊へ。別便で福井入りし、目的地近くの宿あらやで待機していた営業三課のとある社員と合流してチヌ釣りを……というのは「釣りバカ日誌7」のプロローグ。

月替展示では、福井ロケ時にいただいたというハマちゃん(西田敏行さん)スーさん(三國連太郎さん)ヒロイン(名取裕子さん)のサイン色紙(個人蔵)も展示しています(2月27日(水)まで)。



▲サンドーム プッシュアップ時

85805

■展示案内■

◎1・2月月替展示

「公文書と写真でふりかえる

“さよなら平成”展



会期: 2月27日(水)まで

公文書と写真で福井の平成を振り返ります。

◎3・4月月替展示

「(江戸時代の贈答品)」(仮)



会期: 3月1日(金)～4月24日(水)

かににうにななどの食材から、茶棚に若狭塗箸などの家具調度、そして牛肉!にコーヒー!!といった意外な品物まで、福井藩松平家や小浜藩酒井家を中心に、江戸時代にやりとりされていた贈答品を紹介します。

■講座案内■

◎フィアラ先生の古典文学ゼミナール

『徒然草』を読む 第5回(全6回)

日時: 2月23日(土) 13:30～15:00

講師: カレル・フィアラ (文書館古典文学顧問・福井県立大学名誉教授)

会場: 文書館 研修室

定員: 40名(要申込、先着順)

*『すらすら読める徒然草』中野孝次 著(講談社文庫)(ISBN978-4-06-277705-6)をご用意ください。

*第5回は2月23日(土)です。

◎専門講座 ふくいのアーカイブズを読み解く

「豊臣秀吉の「唐入り」構想

—「組屋文書」の山中橋内書状を中心に—

日時: 3月17日(日) 13:30～15:00

講師: 藤井讓治氏 (文書館記録資料アドバイザー・京都大学名誉教授)

会場: 県立図書館 多目的ホール

定員: 70名(要申込、先着順)

江戸時代後期に、組屋家*の屏風の下張りから豊臣秀吉の右筆山中橋内が北政所の侍女に送った書状が発見されました。講座では、昨年秋に修復を終えたその書状から浮かび上がる秀吉のアジア支配構想について考察を加えていきます。

*組屋家: 豊臣期に豊臣家や浅野氏をはじめとする領主とも深い関係を結び、廻船や貿易で活躍した若狭小浜の初期豪商



■ちょっと昔の2月風景■

◀融雪装置

昭和44年2月6日 63821

▼水海の田楽能舞(池田町)

昭和56年2月15日 68266



■ご利用案内■

開館時間 午前9時から午後5時まで

■フレンドリーバスをご利用ください■



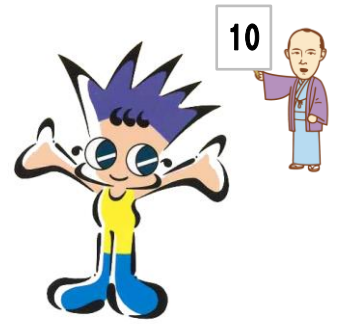
■2月の開館日カレンダー■

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

は休館日です

■今月の展示■

来年4月30日をもって平成は終わりを迎えます。
世界体操、重油流出、恐竜博、福井豪雨、舞若道、国体・障スポ……。
新たな時代を前に福井の平成30年間に公文書と写真からふりかえります。



平成30年展福井県文書館 1-2月月替展示

さよなら

公文書と写真でふりかえる

平成

展



2018.12.21.FRI. - 2019.2.27.WED. 9:00am-5:00pm 入館無料 福井県文書館

県のさまざまな職務内容を記録している公文書。現在文書館では約6万冊の文書を歴史的公文書として収蔵しています。今回は、平成の時代に主に県が関係してつくられた福井市・奥越・丹南・嶺南各エリアの建物や道路およびその関連行事等をそれぞれの周辺の資料とともに展示します。 題字は「平成(元号)の書」国立公文書館所蔵より作成
福井市下馬町 51-11 TEL/0776-33-8890 FAX/0776-33-8891 www.library-archives.pref.fukui.jp